



岩手労働局発表
令和元年11月15日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 高橋 友行
課長補佐 和野内 利幸
(電話) 019-604-3007

2019年1月～10月分（速報値）の 労働災害発生状況を公表します

～2019年（1月～10月）の死傷者数は、前年同期比1.3%の減少～

岩手労働局（局長 おじか まさや 小鹿 昌也）は、2019年1月～10月の県内の全業種における労働災害による死傷者数（休業4日以上）及び死亡者数の状況を取りまとめました。

2019年1月～10月（10月末現在の速報値）の死傷者数は1,033人となり、前年同期比で14人（1.3%）の減少、死亡者数は6人と前年同期比で8人の減少となっています。

（業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。）

I 2019年（1月～10月）の労働災害発生状況（2019年10月末現在 速報値）

1 死傷災害（休業4日以上）【表1】（P.3）、【グラフ1】（P.6）、【グラフ2】（P.7）

（1）全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,033人（速報値）で、前年同期比で14人（1.3%）減少となっています。

（2）業種別の状況

- ① 前年同期比で増加した業種は、「商業」155人（前年同期比+25人、+19.2%）、「保健衛生業」107人（前年同期比+21人、+24.4%）などとなっています。
- ② 前年同期比で減少した業種は、「製造業」195人（前年同期比-38人、-16.3%）、「建設業」180人（前年同期比-33人、-15.5%）、「運輸交通業」114人（前年同期比-15人、-11.6%）、などとなっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、289 人 (28.0%) となっています。次いで、「墜落・転落」164 人 (15.9%)、「はさまれ・巻き込まれ」118 人 (11.4%) となっています。

2 死亡災害 【表 2】(P.4)、【表 3】(P.5)

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は 6 人で、前年同期比 (10 月 31 日までに報告のあった人数) で 8 人減少しました。

(2) 業種別の状況

業種別では「建設業」で 4 人、「運輸交通業」「その他の事業」で各 1 人となっています。

[表1]

2019年 労 働 災 害 発 生 状 況 (休業4日以上の死傷者数)

2019年 1月～10月

岩手労働局

業 種	岩手局		増減数	増減率	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
	2019年	2018年									
食料品	21	27	-6	-22.2%		5	4		1	11	
水産食料品	63	72 (3)	-9	-12.5%	22		2	18	5	2	14
上記以外の食料品	6	10	-4	-40.0%				4	1		1
繊維・衣服その他繊維製品	21	32	-11	-34.4%	4	5		3		5	4
木材・木製品、家具・装備品	6	7	-1	-14.3%	3			1	2		
パルプ・紙、印刷・製本	12	① 12	0	0.0%	5			3	4		
化学工業	6	8 (1)	-2	-25.0%		1		1	2		2
窯業土石	2	8	-6	-75.0%	1				1		
鉄鋼業、非鉄金属	23	16	7	43.8%	9			9	4	1	
金属製品	6	11	-5	-45.5%				5	1		
一般機械器具	9	6	3	50.0%		1		6	2		
電気機械器具	10 (1)	8	2	25.0%	1 (1)			1	5	1	2
輸送用機械製造	1 (1)	2	-1	-50.0%	1 (1)						
電気・ガス	9	14	-5	-35.7%	1		2	4		2	
その他の製造	195 (2)	① 233 (4)	-38	-16.3%	47 (2)	12	8	55	28	22	23
小計	2		2			1	1				
土木工事	③ 70 (4)	⑤ 80 (5)	-10	-12.5%	11	① 16	5 (1)	16 (1)	4	① 7	① 11 (2)
鉄骨・鉄筋家屋	15	① 17 (1)	-2	-11.8%	2	2		7		1	3
木造家屋	① 44 (3)	① 51 (1)	-7	-13.7%	8	6 (1)	2	① 10 (2)	5	7	6
その他の建築工事	27	① 37 (4)	-10	-27.0%	11	2	1	11	2		
その他の建設	24 (6)	① 28 (3)	-4	-14.3%	4	2	1	12 (6)	3	1	1
小計	④ 180 (13)	⑨ 213 (14)	-33	-15.5%	36	① 28 (1)	9 (1)	① 56 (9)	14	① 16	① 21 (2)
道路貨物運送業	① 104 (6)	113 (9)	-9	-8.0%	49 (5)	2	1	30 (1)	① 11	3	8
その他の運輸交通業	10 (1)	16 (1)	-6	-37.5%	8	1		1 (1)			
貨物取扱	1	1	0	0.0%	1						
農業	8	8	0	0.0%	4			2	1	1	
林業	37	② 33	4	12.1%	11	8	3	1	2	3	9
畜産業	48	39	9	23.1%	22	1	1	8	4	1	11
水産業	8	8	0	0.0%		1	3			4	
小売業	115 (13)	105 (10)	10	9.5%	50 (5)	5	8	30 (5)	14 (3)	1	7
その他の商業	40	25 (5)	15	60.0%	19	2		12	3	2	2
通信業	16 (6)	26 (13)	-10	-38.5%	5 (1)	2 (1)		3 (1)	3 (3)	1	2
社会福祉施設	89 (4)	① 77 (5)	12	15.6%	26 (1)	5	3	30 (1)	8	10 (1)	7 (1)
その他の保健衛生業	18 (1)	9	9	100.0%	12 (1)	1		2	3		
旅館業	22	7	15	214.3%	12	1	3	6			
飲食店	23	17 (1)	6	35.3%	13		2	4	1		3
その他の接客娯楽業	8	19 (1)	-11	-57.9%	4			4			
ビルメンテナンス業	29	21	8	38.1%	18	1	2	4	4		
その他(上記以外の全ての業種)	① 80 (10)	① 77 (6)	3	3.9%	① 31 (3)	6 (1)	2	12	9 (1)	4 (2)	16 (3)
合 計	⑥ 1033 (56)	④ 1047 (69)	-14	-1.3%	① 368 (48)	① 77 (3)	46 (1)	① 260 (18)	① 105 (7)	① 68 (3)	① 109 (6)
前年同期					② 362 (23)	② 62 (6)	① 59	② 255 (14)	120 (6)	② 73 (4)	⑤ 116 (16)
増減率					6	15	-13	5	-15	-5	-7
増減率					1.7%	24.2%	-22.0%	2.0%	-12.5%	-6.8%	-6.0%

(注) 2019年10月末の速報値である。
 ○数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。

[表2]

2019年 死亡災害発生状況（10月31日 現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生月	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	一関	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	1月	土	男	70歳代 (10年以上 20年未満)	飛来、 落下	解体用機械	解体用機械でFRP製タンクの破砕作業中、つかみ具でタンク内部の鋼管（直径5cm、20kg）の輪3つを楕円状につぶすため、2つの輪をつかんだ際、1つが横方向に飛び、被災者の腹部に激突した。
2	宮古	建設業 (道路建設工事業)	3月	火	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	墜落、 転落	締固め用機械	被災者がロード・ローラーを運転中、路肩からロード・ローラーごと転落、傾斜40度の法面を5.6m下った所の擁壁上でロード・ローラーの下敷きになった。
3	二戸	建設業 (トンネル建設工事業)	3月	火	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	崩壊、 倒壊	地山、岩石	トンネル建設工事の切羽において一次コンクリート吹付後、支保工の建て込み準備をしていたところ、切羽左上部から岩塊（1㎡位）が2回に分けて落下した。
4	大船渡	建設業 (土地整理土木工事業)	3月	火	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 建設機械等	鶏舎2階と高台に架かる通路橋（傾斜していて、幅4m×長さ20m）の下を舗装する工事にて、アスファルトフィニッシャーを運転し、通路橋の下へ後進させたところ、通路橋の横梁（高さ1.5m）とアスファルトフィニッシャーの車体（高さ1.8m）との間に運転手が上半身を挟まれた。
5	盛岡	その他の事業 (その他)	4月	月	男	50歳代 (10年以上 20年未満)	飛来、 落下	フォークリフト	出張先の構内でプレス機械（800kg）移設のため、フォークリフト（最大荷重2t）を使用して搬送作業中、床面の段差（最大4.5cm）を通過した際プレス機械が横転し、誘導をしていた被災者が建物の壁とプレス機械に挟まれた。
6	花巻	建設業 (木造家屋建築工事業)	8月	土	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	大船渡の工事現場で電気・配管工事終了後、北上市の新築工事現場に向かうため、ワゴン車で国道107号を移動中、被災者が運転していたワゴン車が対向車線にはみ出し、トラックに正面衝突した。

【表3】

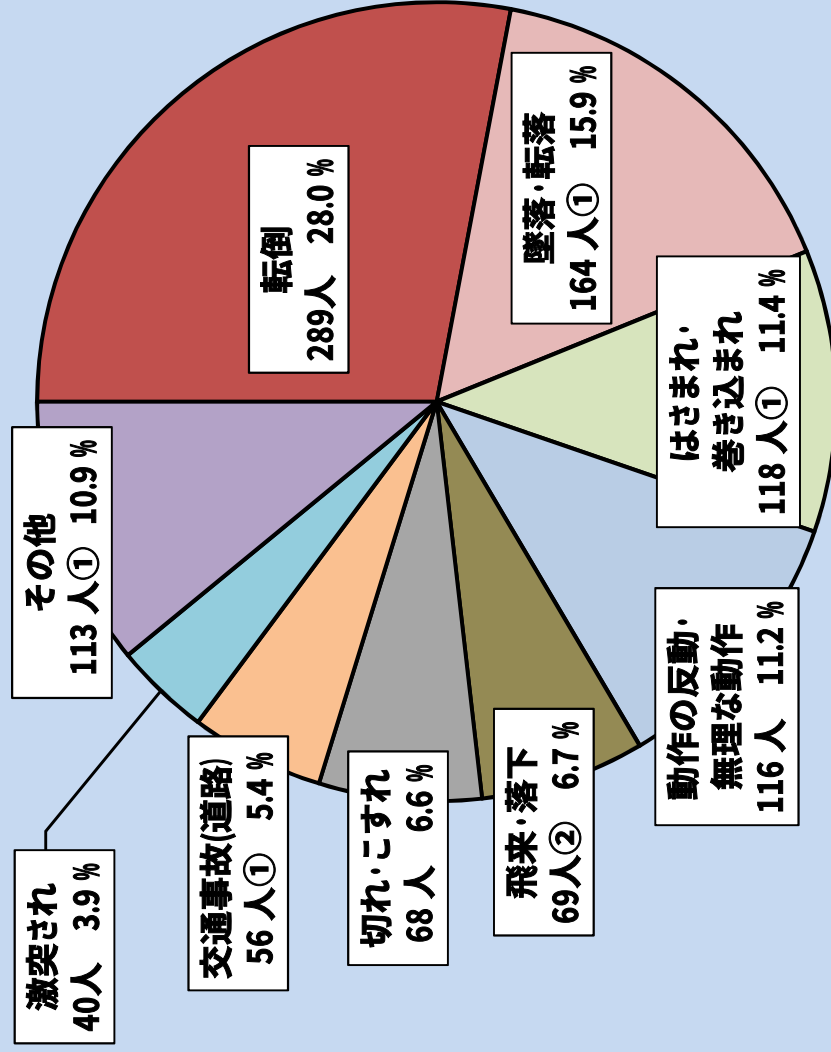
2019年 死亡災害発生状況（事故の型別等） 10月31日現在

業種別	製造業 0 人 (1 人)	鉱業 0 人 (0 人)	建設業 4 人 (9 人)	運輸業 1 人 (0 人)	林業 0 人 (2 人)	商業 0 人 (0 人)	左記 以外 1 人 (2 人)	6 人 (前年同期14人)
監督署別	盛岡 1 人 (2 人)	宮古 1 人 (2 人)	釜石 0 人 (1 人)	花巻 1 人 (2 人)	一関 1 人 (0 人)	大船渡 1 人 (2 人)	二戸 1 人 (5 人)	
事故の型別	墜落・ 転落 (4 人)	転倒 0 人 (2 人)	飛来・ 落下 2 人 (1 人)	崩壊・ 倒壊 1 人 (1 人)	激突 され 0 人 (1 人)	はさまれ・ 巻き込まれ 1 人 (2 人)	切れ・ こすれ 0 人 (0 人)	
	破裂 0 人 (0 人)	高温の物 との接触 0 人 (0 人)	激突 0 人 (0 人)	感電 0 人 (0 人)	有害物 等との 接触 0 人 (0 人)	交通事故 1 人 (2 人)	その他 0 人 (1 人)	

注：（ ）内は前年同期

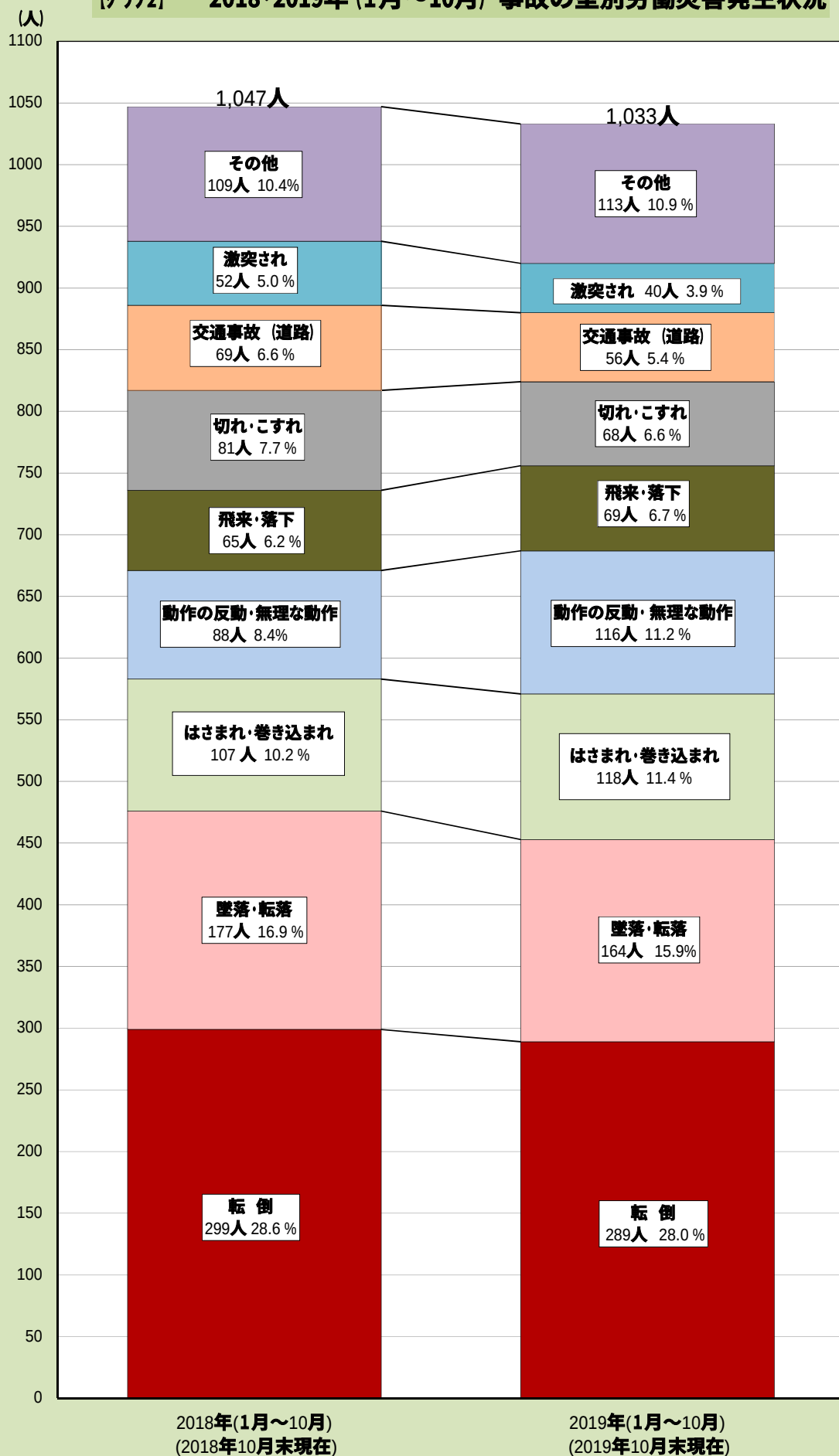
[グラフ1] 2019年(1月～10月) 労働災害発生状況 (事故の型別)

岩手労働局



2019年10月末の速報値である。
○数字は死者数(内数)である。

[グラフ2] 2018・2019年(1月～10月) 事故の型別労働災害発生状況



労働災害発生状況 (休業4日以上の死傷者数)

岩手労働局

2019年 (2019年10月末統計)

業 種		当年 累計	前年 同期	対前年同期 増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製 造 業	食料品	21	27	-6 -22.2%		3	1	5	4	1	2	2	1	2		
	水産食料品	63	72 (3)	-9 -12.5%	14	5	5	2	5	4	15	7	3	3		
	上記以外の食料品	6	10	-4 -40.0%	2	2					2					
	繊維・衣服その他繊維製品	21	32	-11 -34.4%	3	3	3	1	2		5	2	1	1		
	木材・木製品、家具・装飾品	6	7	-1 -14.3%	1		1		2				2			
	パルプ・紙、印刷・製本	12	① 12	0 0.0%	2	2	1	2	2	2	1		2			
	化学工業	6	8 (1)	-2 -25.0%	2	1	1	1	1			1				
	窯業・土石	2	8	-6 -75.0%	1							1				
	鉄鋼業、非鉄金属	23	16	7 43.8%	4	5	1	2	1	4	3		2	1		
	金属製品	6	11	-5 -45.5%	1		1	2	1			1				
	一般機械器具	9	6	3 50.0%	2	2	1	2		1			2 (1)	1		
	電気機械器具	10 (1)	8	2 25.0%	1		3		1	1	2					
	輸送用機械製造	1 (1)	2	-1 -50.0%			1 (1)									
	電気・ガス	9	14	-5 -35.7%	1	1	1	1			1	1	2	1		
	その他の製造	195 (2)	① 233 (4)	-38 -16.3%	34	24	20 (1)	18	17	13	31	14	15 (1)	9		
	小 計	2		2	1						1					
鉱 業	土木工事	③ 70 (4)	⑤ 80 (5)	-10 -12.5%	9	6	③ 13 (1)	7	1	8 (2)	9	6 (1)	3	8		
	鉄骨・鉄筋家屋	15	① 17 (1)	-2 -11.8%	3	3	5	2	1				1			
	建築	① 44 (3)	① 51 (1)	-7 -13.7%	4	2	8 (1)	5 (1)	5	4	5	① 3 (1)	6	2		
	木造家屋	27	① 37 (4)	-10 -27.0%	4	2	3	2	1	1	6	2	4	2		
	その他の建築工事	24 (6)	① 28 (3)	-4 -14.3%	7 (4)	1	4 (1)	2	3 (1)	1	4	1		1		
	小 計	④ 180 (13)	⑥ 213 (14)	-33 -15.5%	27 (4)	14	③ 33 (3)	18 (1)	11 (1)	14 (2)	24	① 12 (2)	14	13		
	道路貨物運送業	① 104 (6)	113 (9)	-9 -8.0%	① 10 (1)	15 (1)	13 (1)	11	10 (1)	7	10 (1)	11 (1)	8	9		
	その他の運輸交通業	10 (1)	16 (1)	-6 -37.5%	3 (1)	2	3	1			1					
	貨物取扱	1	1	0 0.0%								1				
	農業	8	8	0 0.0%			1	1	1	2	3					
農 林 水 産 業	林業	37	② 33	4 12.1%	4	4	6	4	3	7	1	1	6	1		
	畜産業	48	39	9 23.1%	3	8	7	5	6	3	3	3	9	1		
	水産業	8	8	0 0.0%		1		2			1	2		2		
	小売業	115 (13)	105 (10)	10 9.5%	26 (3)	16 (3)	15 (2)	9 (1)	13 (2)	18	6	6 (2)	4	2		
	その他の商業	40	25 (5)	15 60.0%	3	3	7	6	1	5	3	5	5	2		
	通信業	16 (6)	26 (13)	-10 -35.5%	1 (1)	2 (1)	3 (1)	1	3 (1)	1	3 (2)		1	1		
	社会福祉施設	89 (4)	① 77 (5)	12 15.6%	12	16 (2)	8	6	12	9 (1)	9 (1)	6	6	5		
	保健衛生業	18 (1)	9	9 100.0%	4	6	1	2		1	2 (1)	2				
	旅館業	22	7	15 214.3%	2	3	4	1	2	3	2	4		1		
	飲食店	23	17 (1)	6 35.3%	4	2	1	3	1	2	3	3	2	2		
娯 楽 業	その他の娯楽業	8	19 (1)	-11 -57.9%	1		2	1	1	1		1	1			
	ビルメンテナンス業	29	21	8 38.1%	6	5	2	1	2	2	2	2	4	3		
	その他(上記以外の全ての業種)	① 80 (10)	① 77 (6)	3 3.9%	15 (4)	9 (1)	7	① 9	6	8 (2)	8 (2)	10	5 (1)	3		
	合 計	⑥ 1033 (56)	④ 1047 (69)	-14 -1.3%	① 156 (14)	130 (8)	③ 133 (8)	① 99 (2)	89 (5)	96 (5)	113 (7)	① 82 (5)	81 (2)	54		
	その他															

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。

○内は死亡者数 (内数) である。()内は交通労働災害者数 (内数) である。